

2018～2027年度の連系線の運用容量 (年間計画・長期計画)の一部訂正について

2018年3月1日に公表した「2018～2027年度の連系線の運用容量（年間計画・長期計画）」の東北東京間連系線（東京向）の運用容量において、一部の電源運用や作業停止計画の変更が反映されていないため、以下のとおり訂正することとしたい。

2018年3月12日

1. 2018年度の運用容量

<訂正前>

連系線	断面	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北東京間連系線	平日昼間	<410(①)> 【385(①)】	<465(①)> 【418(②)】	<420(①)> 【236(①)】	480(①) <553(②)>	540(①) <563(②)>	460(①)	440(①) <450(①)>	455(①) <465(①)>	430(①) <545(①)>	520(①) <540(①)>	515(①) <520(①)>	530(①) 【236(①)】
	平日夜間	<400(①)> 【375(①)】	<420(①)> 【398(②)】	<420(①)> 【236(①)】	460(①) <508(②)>	543(②) <548(②)>	430(①)	420(①) <430(①)>	420(①) <430(①)>	420(①) <528(①)>	520(①)	510(①) <515(①)>	555(①) 【236(①)】
	休日昼間	<410(①)> 【385(①)】	<465(①)> 【435(①)】	<420(①)> 【318(②)】	495(①) <545(①)>	540(①) <563(②)>	460(①) <450(①)>	440(①) <450(①)>	455(①) <465(①)>	510(①) <545(①)>	520(①) <540(①)>	515(①) <520(①)>	430(①) <483(①)> 【236(①)】
	休日夜間	<400(①)> 【375(①)】	<420(①)> 【410(①)】	<415(①)> 【320(②)】	483(②) <503(②)>	543(②)	430(①) <450(①)>	420(①) <430(①)>	420(①) <430(①)>	425(①) <523(①)>	520(①)	510(①) <515(①)>	450(①) <483(①)> 【236(①)】



<訂正後>

赤文字：訂正箇所

連系線	断面	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北東京間連系線	平日昼間	<375(①)> 【350(①)】	<400(①)> 【380(①)】	<395(①)> 【236(①)】	475(①) <523(②)>	530(①) <540(①)>	410(①) <470(①)>	405(①) <410(①)>	410(①) <425(①)>	375(①) <500(①)>	495(①)	490(①) <495(①)>	485(①) 【236(①)】
	平日夜間	<355(①)> 【350(①)】	<400(①)> 【385(①)】	<400(①)> 【236(①)】	493(②) <520(①)>	505(①) <525(①)>	410(①) <430(①)>	390(①) <395(①)>	395(①) <405(①)>	375(①) <490(①)>	480(①)	475(①) <490(①)>	485(①) 【236(①)】
	休日昼間	<375(①)> 【350(①)】	<400(①)> 【380(①)】	<395(①)> 【310(①)】	475(①) <530(①)>	530(①) <540(①)>	410(①) <470(①)>	405(①) <410(①)>	415(①) <425(①)>	400(①) <500(①)>	495(①)	490(①) <495(①)>	430(①) <498(②)> 【236(①)】
	休日夜間	<355(①)> 【350(①)】	<400(①)> 【385(①)】	<400(①)> 【313(②)】	488(②) <520(①)>	505(①) <525(①)>	410(①) <430(①)>	390(①) <395(①)>	395(①)	410(①) <490(①)>	480(①)	475(①) <490(①)>	390(①) <488(②)> 【236(①)】

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
 < >内の数字は、運用容量の最大を示す。(東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。)
 具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

2. 2019年度の運用容量

<訂正前>

連系線	断面	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北東京間連系線	平日昼間	463(2) <473(2)>	523(2) [473(2)]	333(2) <353(2)> [236(1)]	530(1) <538(2)> [448(2)]	563(2)	510(1) <558(2)>	405(1) <515(1)>	500(1) <535(1)>	535(1) <555(1)>	543(2) [488(2)]	450(1) <498(2)>	425(1) <545(1)>
	平日夜間	488(2) <498(2)>	478(2) [453(2)]	328(2) <348(2)> [236(1)]	523(2) <528(2)> [448(2)]	543(2)	515(1) <543(2)>	425(1) <543(2)>	515(1) <543(2)>	540(1) <543(2)>	515(1) [508(2)]	435(1) <525(1)> [513(2)]	395(1) <535(1)>
	休日昼間	463(2) <473(2)>	523(2) <528(2)>	333(2) <353(2)> [236(1)]	503(1) <538(2)>	563(2)	510(1) <555(1)>	405(1) <495(1)>	500(1)	535(1) <555(1)>	540(1) [488(2)]	450(1) [498(2)]	425(1) <550(1)>
	休日夜間	488(2) <498(2)>	478(2) <483(2)>	328(2) <348(2)> [236(1)]	503(2) <528(2)>	543(2)	515(1) <543(2)>	425(1) <520(1)>	515(1)	540(1) <543(2)>	515(1) <525(1)> [508(2)]	435(1) <525(1)> [513(2)]	395(1) <538(2)>



<訂正後>

赤文字：訂正箇所

連系線	断面	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北東京間連系線	平日昼間	478(2)	488(2) <493(2)> [443(2)]	475(1) <513(2)> [236(1)]	473(2) <520(1)>	505(1) <545(1)>	485(1) <540(1)> [485(1)]	450(1) <480(1)> [338(2)]	455(1)	495(1) <500(1)>	490(1) <510(1)>	400(1) <505(1)>	375(1) <490(1)>
	平日夜間	488(2)	443(2) <448(2)> [398(2)]	490(1) <493(2)> [236(1)]	443(2) <520(1)>	525(1)	505(1) <520(1)> [470(1)]	445(1) <470(1)> [328(2)]	455(1)	485(1) <490(1)>	485(1) <490(1)>	400(1) <485(1)>	375(1) <490(1)>
	休日昼間	478(2)	488(2) <503(2)>	475(1) <513(2)> [236(1)]	473(2) <520(1)>	505(1) <545(1)>	495(1) <540(1)> [485(1)]	475(1) <475(1)> [338(2)]	455(1) <510(1)>	495(1) <500(1)>	490(1) <510(1)>	400(1) <505(1)>	375(1) <500(1)>
	休日夜間	488(2)	443(2) <458(2)>	485(1) <493(2)> [236(1)]	443(2) <520(1)>	525(1)	505(1) <520(1)> [470(1)]	460(1) <460(1)> [328(2)]	455(1) <490(1)>	485(1) <490(1)>	485(1) <490(1)>	400(1) <485(1)>	375(1) <480(1)>

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
 < >内の数字は、運用容量の最大を示す。(東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。)
 具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

3. 2020～2027年度の運用容量（長期計画）

<訂正前>

連系線	潮流方向	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
東北東京間連系線	東京向	553 ¹⁾ (2) 【380(1)】	553(2) 【380(1)】	553(2) 【380(1)】	623 ²⁾ (2) 【380(1)】	623(2) 【380(1)】	623(2) 【380(1)】	623(2) 【380(1)】	623(2) ³⁾ 【380(1)】



<訂正後>

赤文字：訂正箇所

連系線	潮流方向	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
東北東京間連系線	東京向	553 ¹⁾ (2) 【375(1)】	553(2) 【375(1)】	553(2) 【375(1)】	623 ²⁾ (2) 【375(1)】	623(2) 【375(1)】	623(2) 【375(1)】	623(2) 【375(1)】	623(2) ³⁾ 【375(1)】

【 】内の数字は、最大需要時以外など空容量が小さくなると予想される値を示す。（東北東京間（東京向）は、2018年度における最小値を参考記載）

()内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。

- 1) 「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」(2017.2.3策定)にて示された短工期対策により、2020年度以降運用容量が増加する見込みであり、それを反映済み。
- 2) 東北地内の電源増設により、2023年度から東京向きの運用容量が70万kW増加の見込み。
- 3) 2027年第二連系線運開後は、1028万kWになる見込み。

今回の訂正により、2018年度の運用容量は、2017年度と比較して最大40万kW程度減少する。

一方、2017年度において空容量が40万kW以下となったのは、0.5%以下であることから、連系線利用への影響は極めて限定的である。

